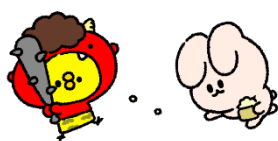


LET'S GO!

パリ日本人学校 小学部5年1組
学級通信 第37号
2026年2月6日(金)
担任 高橋 奈津子
parinichi.takahashi@gmail.com

パリ日フォーラムに向けて

明日はいよいよ土曜参観・パリ日フォーラムです。5年生のテーマは「産業」。社会科と関連付けて、農業や水産業、工業など自分が最も興味のある分野を選んで詳しく調べました。社会科の授業で学んだのは、どの分野にも必ず課題があるということ。子ども達の最終的なゴールは、産業における課題を解決するために「あったらいいな」と思う商品やイベント、ロボットなどを考えることです。そのアイディアに説得力をもたせるために、産業の現状について統計資料を交えて発表することを意識しました。冬休み前から発表の準備を進め、発表の構成からスライド作り、原稿の作成まで一人ひとり一生懸命取り組みました。総合的な学習の時間に限らず、社会科や国語科など複数の教科での一年間の学びの集大成となります！明日はぜひ応援よろしくお願いします。



【来週の予定】 急な変更があるかもしれません。ご了承ください。

	9日(月)	10日(火)	11日(水)	12日(木)	13日(金)
1	家庭	英会話	国語	音楽	算数
2	フランス語	算数	理科	フランス語	体育
3	算数	体育	家庭	体育	国語
4	理科	書写	社会	英会話	理科
5	音楽	社会	算数	算数	社会
6	クラブ	国語	図工	総合	道徳
持ち物 連絡	・各クラブで 必要なもの	・体操着	・彫刻刀	・体操着	・体操着

1月23日に行われた新1年生一日入学。その日に書いた5年生の作文が素敵だったのでいくつか紹介します！
新1年生のことを思いやり、よく気遣ってくれたことが伝わります。もう立派なお兄さん・お姉さんですね♪

【中野遥臣さん】

ぼくは新一年生一日入学でがんばったことが四つあります。

一つ目は司会です。一年生に伝わるように大きな声でゆっくり言うということをがんばりました。それに、プログラムは一年生が読めるようにひらがなにしたりイラストをのせたりしました。

二つ目は一年生への態度です。「この人はいい人だ」と思ってもらえるように、好きな色の話などをしました。一年生の子は喜んでくれたと思います。

三つ目は受付です。みんなで役割を決めて行動しました。ぼくは一年生のペアになる五年生をよぶ役割だったので、大きな声で五年生をよびました。

そして最後は準備です。いすを運んだりつくえを運んだりと力仕事が多かったので大変でした。

ぼくは一年生に「やさしいお兄さんたち」「学校は楽しい」と思ってもらえたと思います。来年、一年生が来るのが楽しみです。

【山下航汰さん】

一月二十三日に新一年生の一日入学がありました。五年生が一年生を誘導しなきゃいけなくて大変でした。

ぼくは、司会などではないのでみんなの前で話すことはなかったけれど、一年生と手をつないで教室やトイレに連れて行きました。まちがえて手をはなしてどこかに行ったらどうしようかと思いましたが、新一年生のほとんどがお利口でどこにも行きませんでした。でも、折り紙はぼくの方が下手で、あまり教えることができませんでした。ですが、だるまさんが転んだや氷鬼では、手加減をして新一年生でもつかまえられるぐらいで走ったので、そこはよかったかなと思いました。

最初は少しきんちょうしたけど、新一年生はお利口できんちょうしなくなりました。またいつかこのような機会があったら、ちゃんと教えてあげたいです。

【横井時泰さん】

始めは正直言って、いやだった。なんで一年生が来るんだろう。入学式に来ればいいのに、思っていたのだ。五年生の受付の子に、ペアが来たよと一人ひとり呼ばれ、手をつないで座る。そして、いよいよ自分が呼ばれる。きんちょうしてその子に名札をかけてあげる。そして席に向かおうとしていると、その子に手をギュッとにぎられた。そのとき、いやだと思う気持ちがふき飛んだのか。手を自分より小さい子ににぎられる経験があまりなかったから、何だかうれしくて、その子が不安げにしていると、自分が無意識に「大丈夫だよ」と伝えていた。そして、折り紙の時間、えん筆の形に折ることができて喜んでいて姿を見て、心が温かくなった。

そして、お別れの時間。その子が「またね」と言ってくれた。自分も「またね」と返した。その後、幼稚園のみんながバスに乗りこみ、中から手をふってくれた。まもなくバスは出発した。今思えば、不思議だった。始めはいやだったのに、気付けば、温かい気持ちになっていたから。

【若間哲志さん】

ぼくが一日入学でがんばったことは四つあります。

まず一つ目は、新一年生を喜ばせるためにいろいろな遊びを考え、氷おにをすることに決めて準備をしたことです。

次に二つ目は、新一年生に伝えたいことを正確に伝えるために、一年生でも分かる言葉を使って説明したことです。

次に三つ目は、氷おにのときに、新一年生と同じくらいのスピードで走ったことです。

最後に四つ目は、新一年生を楽しませるためにおもしろいことをして笑わせたり、氷おにでわざとつかまったり、クイズで変な解答をしたりして、いろいろな手だんで楽しませようとしたことです。

このように、ぼくはこの四つのことで新一年生を喜ばせたり楽しませたりすることができました。これが、次の人のためになったらいいなと思っています。

【阿部菜花さん】

一月二十三日、今日は四月から一年生になる子たちが来てくれました。

最初はみんなきんちょうしていたけど、クイズや折り紙をしているうちに、ペアの子もたくさんお話ししてくれるようになりました。

ペアの子も、他の女の子の友達もできていたし、わたしもペアの子と仲よくなれたのでうれしかったです。

だるまさんが転んだや氷おにをしているときもみんな楽しそうでした。学校のクイズもとても盛り上がっていたし、たくさんお話ししてくれました。

終わりの会の時は、

「えー、もう終わりなの？早くない？」

と、「まだここにいたい」というようなことを言ってくれたので、一日入学を楽しんでもらえたのだと思います。最後も、「ありがとう」と言ってくれてうれしかったです。